

【収入保険】私の選択・加入者の声

「病気やけがも経営リスク」

【群馬県高崎市 ゆあさ農園

代表 湯浅 直樹さん（61）】



ウメ1.35ヘクタールなどを栽培し、生ウメ、梅干し、練り梅、梅酢や梅粉を販売しています。販路は都内を中心とした企業や全国の個人です。また、先日、JETRO（日本貿易振興機構）を通じて、フランスへ梅干しを初輸出しました。

農業経営には、ひょう害で傷による不良率の増加や、企業との取引の急な取りやめ、原発事故によるシイタケ栽培の廃業やウメの販売先の減少など様々なリスクがあります。

収入保険に加入する最大の理由は、万が一のけがや病気で作業できない場合のリスクに備えるためです。基本的に夫婦2人だけの作業なので体調不良には不安があります。

また、近隣で農作業事故があり、傾斜地での農作業は、どうしても危険を感じる場面があります。もしも、夫妻どちらかが作業できなくなって、1年間販売が落ち込んでも、補償さえあれば、経営が継続できると考えています。

農業はいつ何があるか分かりません。**保険に入っておくことは大前提だと思います。**

（農業共済新聞2019年7月2週号より抜すい）